

北関東 防衛局 広報

2025.9
Vol.
124

目次 - CONTENTS -

- 2 令和7年度 優秀工事等顕彰状授与式
- 3 ～優秀工事受賞建物～ 一部紹介～
- 4 令和7年度 北関東防衛局防災訓練
- 5 第55回 防衛問題セミナーを開催
- 6 陸上自衛隊オスプレイ 木更津駐屯地から移駐
- 7 わが町紹介（東京都西多摩郡瑞穂町）
- 8 令和7年8月1付人事異動幹部紹介
（局長、次長、装備部長）
- 9 事務所だより ～千葉防衛事務所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
・ドローンの規制についてのお知らせ
・米軍の飛行場周辺における建造物等の設置について
・在日米軍従業員募集



道の駅 和田浦WA・O！ シロナガスクジラ骨格標本（左）
和田コミュニティセンター クジラのトリックアート（右）



令和7年度 優秀工事等顕彰状授与式

令和7年7月11日、北関東防衛局において、優秀工事等顕彰式が執り行われ優秀工事18社、優秀業務2社合計20社の企業並びに優秀工事技術者15名、優秀業務技術者2名合計17名の技術者の皆様に顕彰状の授与が行われました。



この顕彰は、技術・品質が優れ他の模範となるにふさわしい工事、業務及び技術者を顕彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としています。

区分	件名	受賞企業名	区分	件名	受賞企業名
優秀工事	松戸（5）実習場新設等建築その他工事	株式会社浅川組東京支店	優秀工事	木更津（3）整備格納庫新設電気その他工事 木更津（4）整備格納庫新設電気その他追加工事	末廣屋電機株式会社東京支店
	入間（4補）空調機等更新工事	アサヒ住建株式会社		相馬原（3）整備工場新設等機械工事	株式会社東海テック
	百里（5）宿舎解体工事	株式会社アレスコ		木更津（3）整備格納庫新設機械工事 木更津（4）整備格納庫新設機械追加工事	東洋熱工業株式会社関東支店
	木更津（3）整備格納庫新設建築その他工事 木更津（4）整備格納庫新設建築追加工事	安藤ハザマ・大勝建設共同企業体 株式会社 安藤・間 首都圏建築支店		横田（3）構内配電線路整備工事	日本コムシス株式会社
	木更津（3）整備格納庫新設建築その他工事 木更津（4）整備格納庫新設建築追加工事	安藤ハザマ・大勝建設共同企業体 大勝建設株式会社東京支店		松戸（5）庁舎等新設電気その他工事	株式会社万代電気工業
	百里（3）構内配電線路等整備工事	飯島電気工事株式会社		市ヶ谷（4）庁舎D棟外壁改修等建築工事	前田建設工業株式会社東京建築支店
	入間外（4）電源室新設等電気その他工事	株式会社イトラスト埼玉		百里（4補）構内配電線路更新工事	株式会社ミワ電気
	松戸（5）庁舎等新設機械工事	池田煖房工業株式会社本店		横田(4)給水施設(1302)整備等工事	村本建設株式会社東京支店
	相馬原（3）整備工場新設等電気その他工事	JESCO SUGAYA株式会社	優秀業務	硫黄島外（5）隊舎新設等建築設計	株式会社浦野設計 東京本社
	市ヶ谷（3）庁舎空調設備更新等工事	新菱冷熱工業株式会社		防医大外（5）構内配電線路整備等設備設計	株式会社ムラシマ事務所

～優秀工事受賞建物 一部紹介～

工事名：市ヶ谷(4)庁舎D棟外壁改修等建築工事

受注者：前田建設工業 株式会社 東京建築支店



外観



厚生棟(屋上緑化)

工事名：木更津(3)整備格納庫新設建築その他工事・木更津(4)整備格納庫新設建築追加工事

受注者：木更津（３）整備格納庫新設建築その他工事安藤ハザマ・大勝建設共同企業体



外観



内観(格納庫)

工事名：松戸（５）実習場新設等建築その他工事

受注者：株式会社 浅川組 東京支店



外観



内観(作業室)

令和7年度 北関東防衛局防災訓練

令和7年7月14日から18日までの間、自衛隊の首都直下地震発災時における災害対処能力の向上を図るために「令和7年度自衛隊統合防災演習」が実施され、北関東防衛局も本演習に参加した陸上自衛隊東部方面総監部と連携するための訓練を行うとともに、局独自の防災訓練を行いました。



【連絡員の活動】



【エルフォースの活動】



【対策本部会議】

東部方面総監部との連携訓練では、発災後ただちに同総監部が所在する朝霞駐屯地に連絡員を派遣し、連絡員は、地震の被害状況や陸上自衛隊の活動状況についての情報を局に報告するとともに、自衛隊から局に対する支援要望等の内容を迅速かつ正確に伝達するといった演練を行いました。

支援要望への対応の一例として、地震により被災した建物やユーティリティ等の施設における損害状況を判定する施設整備調査チーム（エルフォース）を同駐屯地に派遣しました。



【対策本部設営】

また、局独自の防災訓練としては、東京都南部地域を震源とする大規模地震が発生したとの想定の下、職員・家族等の安否確認訓練、北関東防衛局における非常勤務態勢の伝達訓練及び対策本部の設営訓練を実施しました。

森局長（当時）から「大規模地震はいつ発生するかわからないため、日頃から準備・訓練を行い備えることが重要である。」との講評があり、防災訓練は終了しました。

北関東防衛局では、今後とも、継続的に防災訓練を行うとともに、災害時における自衛隊・米軍に対する各種支援活動や関係自治体との緊密な連携に積極的に取り組んでまいります。

第55回 防衛問題セミナーを開催



池田局長の挨拶



講演後、参加者からの質問に対してわかりやすくご回答いただき、アンケートでは、「国民保護の意味を理解することができた」、「内陸の埼玉県において警戒すべきことについての説明が興味深かった」、「WPSを初めて知った」、「WPSの活動が災害時に活用されていると聞き、女性の身として安心できると思った」、など多くのご意見・ご感想を頂戴し、ご好評いただきました。

中林准教授のご講演



松沢室長のご講演



令和7年8月22日、埼玉県さいたま市のさいたま新都心合同庁舎1号館において、第55回防衛問題セミナーを開催しました。

本セミナーは、防衛省・自衛隊の政策・取り組みについて、国民の皆様理解を深めていただくことを目的として、平成19年度から実施しています。

今回のテーマは、「**ともに生きる社会を守るために～国民保護と防衛省の女性・平和・安全保障(WPS)への取り組み～**」。

池田北関東防衛局長の主催者挨拶では、わが国を取り巻く安全保障環境がロシアによるウクライナ侵略のような力による一方的な現状変更やその試みが行われるなど、戦後最も厳しく複雑な状況に直面していると思われる中、防衛3文書を踏まえた「防衛力の抜本的強化」に係る取り組みがおおむね計画どおりに進捗しているとの説明がありました。

各講師による講演では、第1部は日本大学危機管理学部危機管理学科准教授の中林啓修氏から「国民保護とは？紛争下の社会における市民の保護について考える」について、また、第2部は防衛省防衛政策局WPS国際連携室長兼防衛省ジェンダー・アドバイザーの松沢朝子氏から「防衛省と女性・平和・安全保障(WPS)～国内外における取組と進展～」について、ご自身の経験なども交えた内容で、それぞれテーマに沿ってご講演いただきました。

陸上自衛隊オスプレイ 木更津駐屯地から移駐

木更津駐屯地における陸上自衛隊オスプレイの暫定配備開始から5年となる令和7年7月9日、陸上自衛隊オスプレイを運用する輸送航空隊が佐賀駐屯地に移駐しました。

陸上自衛隊オスプレイは、島嶼防衛の要となる水陸機動団（長崎県佐世保市）との一体的な運用の確保等の理由から佐賀空港が配備先として最適であると判断し、佐賀空港における施設整備が整うまでの間、暫定的な措置として木更津駐屯地に配備されていたものです。



佐賀駐屯地へ移駐する陸上自衛隊オスプレイを見送る木更津駐屯地の隊員たち

同日、木更津駐屯地において、輸送航空隊の移駐行事が実施され、渡辺木更津市長、草刈木更津市議会議長をはじめとする市議会議員や木更津駐屯地に関する協議会の部会の委員である駐屯地周辺地区の各区長を招待し、伊東木更津駐屯地司令から木更津市へ5年間にわたる暫定配備への協力に対し感謝状贈呈式が執り行われるとともに、佐賀駐屯地への移駐に向けて飛行する陸上自衛隊オスプレイの見送りが実施されました。



感謝状贈呈式の様子

(渡辺木更津市長（右）と伊東木更津駐屯地司令（左）)

当日は当局の森局長(当時)も参加し、木更津市長をはじめとする木更津市の皆様に対し、令和2年7月から5年間にわたって陸上自衛隊オスプレイの安定的な運用を実現できたことについて改めて感謝の意をお伝えしました。

なお、輸送航空隊の佐賀駐屯地移駐後も、陸上自衛隊オスプレイの定期機体整備は木更津駐屯地で実施することとしております。

当局としては、陸上自衛隊オスプレイをはじめとする自衛隊の活動について、引き続き木更津市の皆様のご理解とご協力が得られるよう、丁寧かつ適切な情報提供に努めてまいります。

～陸上自衛隊オスプレイ移駐までの主な経緯～

- ・ 令和元年 5月24日 防衛省から木更津市へオスプレイ暫定配備の受入れを要請
- ・ 令和元年 12月25日 木更津市長によるオスプレイ暫定配備計画への協力表明
- ・ 令和2年 7月10日 木更津駐屯地に1機目のオスプレイが到着、暫定配備開始
- ・ 令和6年 6月19日 木更津駐屯地へ17機すべての輸送が完了
- ・ 令和7年 7月 9日 佐賀駐屯地が開設し、陸上自衛隊オスプレイを運用する輸送航空隊が移駐
- ・ 令和7年 8月12日 佐賀駐屯地へ陸上自衛隊オスプレイ17機すべての移駐が完了

わが町紹介

東京都西多摩郡瑞穂町



瑞穂町公式キャラクター
「みずほまる」



みずほブランドの
詳細はこちら

魅力あふれる名産品

すみだいまち つながるまち あたらしいまち
～そうどうしょう みらいに **ず**っと **ほ**これる みずほ～

瑞穂町は、東京都心から西へ約40キロメートル、東部には狭山丘陵が広がり、豊かな自然に育まれています。また、町の中心部から北側には、都内随一の生産量を誇る東京狭山茶の茶畑が広がり、東京のお茶処のまちとして知られています。

圏央道のインターチェンジからのアクセスもよく、週末には町外からも甘味や農産物など魅力あふれる数々の名産品を求める方が訪れます。瑞穂町では数々の名産品をより多くの方々に知っていただきたく、「東京みずほブランド」を認定しています。ぜひお店に足を運んでみてください。地場産野菜はふれっしゅはうす（農畜産物直売所）で購入できます。

東京狭山茶

瑞穂町は東京都随一のお茶の生産地です。あまみとコクのある渋みがミックスした濃厚な味は、狭山火入れという独自の仕上げ製法によって引き出されています。八十八夜ごろになると、町内のお茶畑で茶摘みが始まり、茶工場からはさわやかなお茶の香りが漂ってきます。



シクラメン

瑞穂町のシクラメン生産量は都内最大級です。特に長岡地区の岩蔵街道沿いに数多くのシクラメンを育てている温室があり、この街道は「シクラメン街道」とも呼ばれています。

10月下旬から12月下旬にかけて、さまざまな色のシクラメンが温室で直売され、遠方からのお客さんも数多く訪れます。また、シクラメンの季節以外にも四季折々の花卉を販売しています。



シティプロモーション

瑞穂町の魅力を伝えるために、PR活動にも力を入れています。毎年5月に行われる横田基地友好祭でも、周辺自治体として航空自衛隊の方々と一緒に広報活動をさせていただいています。

また、令和7年3月には、観光PR動画を公開し好評をいただいています。



PR動画の視聴はこちら

防衛施設周辺対策事業（瑞穂町多世代交流センターMIZCUL（ミスカル））

瑞穂町高齢者福祉センターとして使用していた施設を令和5年度から令和6年度にかけて改修し、子どもから高齢者までの多様な世代が交流し、つながり、及び居場所となる瑞穂町多世代交流センターMIZCULとなりました。この度の改修により高齢者福祉センターに加え、ダンススタジオや音楽スタジオ、誰もが利用できるパブリックスペースなどが備えられ、学童保育クラブも併設されています。

なお、本施設の改修に際しては、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。



令和7年8月1日付人事異動幹部紹介



(局長 池田 真人)

令和7年8月1日付で北関東防衛局長を拝命いたしました池田真人です。

オフィス最寄りの「さいたま新都心駅」に降りたचित्तと、6年ほど前に企画部長を務めさせていただいた頃の記憶が甦ってきます。

その当時、任務を遂行する中で多様な御意見も頂くことで、私自身も「はっとする気づき」を得ることもありました。これからも関係する方々と協働し信頼関係を深めること、そして北関東防衛局の仲間とも連携し行うことが、事に臨む上での基本であるとあらためて思います。

我々の任務に関しても、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境の中、防衛力の抜本的強化の時代へと遷り、私自身も、防衛省自衛隊の一員として安全保障とのつながりを常に意識し、1都7県を管轄するこの北関東防衛局でも引き続き任に努めてまいります。

これまで勤務した場所や任務で接した各地の風物や人達を想えば、関係した日本内外の市町村などは、あたかも第二の故郷のように感じます。これからも様々な交流や御指導・助言なども踏まえまして、この地でも更に関係各処の「故郷」さを深めたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

8月1日付で次長を拝命しました加藤です。

自衛隊施設や在日米軍基地の問題には、これまで本省の立場で関わってまいりましたが、北関東防衛局を含め地方防衛局での勤務は初めてとなります。

一都7県にまたがる管内防衛施設の安定的な使用に向けて、関係する地方公共団体、周辺住民、国民の皆様の御理解、御協力を得るべく、初心に立ち返りつつ、しっかりと取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



(次長 加藤 勝俊)

8月1日付で装備部長に着任しました阿部です。

法令等に基づく防衛装備品の監督・検査を始めとする装備部所掌の各種事務は、防衛力の維持・強化のための基盤として極めて重要なものと認識しており、本任務に従事する機会を得たことに感謝し、遺漏なき職務遂行に努めてまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。

(装備部長 阿部 正興)



南房総市は、千葉県（房総半島）の南端に位置する、3方を海に囲まれた自然豊かな地域です。ここでは、今も海の恵みとともに地域の歴史、文化が息づいています。

南房総の捕鯨基地

南房総市の太平洋岸に位置する和田漁港は、日本にわずか4か所しかない捕鯨基地の一つです。毎年、ツチクジラが沿岸を回遊する6月から8月の夏季を中心に捕鯨船による漁が行われます。

捕獲数は自主規制により22頭を上限に水揚げされ、捕獲されたクジラは翌日に解体が行われますが、多くの見学者や鯨肉を求める人々で賑わうさまは、この地域の夏の風物詩となっています。

南房総地域で捕鯨が本格化したのは江戸時代で、長い間、地域の食文化や漁業を支えてきました。鯨肉は「海のジビエ」や「マリンビーフ」とも称され、竜田揚げやしぐれ煮などのほか、さまざまな料理として親しまれています。和田漁港周辺にはクジラ料理を楽しむ「道の駅和田浦WA・O!」などの施設や多くの料理店もあり、観光地としても魅力的です。



くじらのたれ

「くじらのたれ」は、この鯨肉を使った南房総の特産品で、江戸時代から続く地域の郷土料理です。「たれ」といっても液体のたれではなく、薄切りにしたツチクジラの赤身をたれに漬け込み天日で干した保存食（乾肉）で、現在もお酒の肴やおかずとして食べられるなど、地域の人に故郷の味として親しまれています。



日本で唯一の料理の祖神を祀る神社



高家神社（たかべじんじゃ）は、日本で唯一の料理の祖神「磐鹿六雁命（いわかむつかりのみこと）」を祀る神社として、料理人や食に関わる人々の信仰を集めてきました。

高家神社では、平安時代の宮中行事を再現する「庖丁式（ほうちょうしき）」という伝統行事が、毎年5月17日、10月17日（旧神嘗祭）と11月23日（旧新嘗祭）に行われます。烏帽子（えぼし）、直垂（ひたたれ）をまとい、包丁と箸のみで一切手を触れることなく、鯉、真鯛、真魚鯉などをさばく古式ゆかしい包丁さばきは、日本料理の伝統を今に伝える厳粛な儀式です。

（写真提供：南房総市）

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で 飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課 連絡調整室
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄)
防衛省本省 地方協力局 在日米軍協力課

(代表) 048-600-1800
(内線:2226.2236.2237)

(直通) 03-5362-4851

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設**その**周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部 地方調整課 連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線:2226.2236.2237)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場周辺の一定の空間を、障害物のない状態にしておくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記にご連絡願います。

(横浜飛行場関連)

北関東防衛局横浜防衛事務所 (代表)042-551-0319

(木更津飛行場関連)

北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表)043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、

在日米軍基地で勤務する従業員

員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホー

ムページをご覧ください。

下記の支部にお問い合わせく

ださい。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 〒196-0014

東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノーマンセンター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/event-katsudo/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報紙
バックナンバー

